

第31回 「なぜなぜ分析」ワンポイント応用編

ここでは、拙著の本に紹介していない応用編について、紹介したいと思います。（ただし、いつか活字になるかも(?)しれません。お約束できませんが……）

あわせて、「なぜなぜ分析」の基本については、ぜひ当社ホームページ、インフォメーションに記載の書籍等をご覧ください。

2007年 6月 27日

有限会社 マネジメント・ダイナミクス

小倉 仁志

jin-ogura@management-dynamics.co.jp

設備を分析する場合は、対象部位のパラメータを予め整理せよ！

設備の故障、チョコ停、または設備が関係する不良などで、お困りではありませんか。

その場合には、すぐに「なぜなぜ分析」を実施するのではなく、トラブルが発生している部位、個所の管理すべきパラメータを列記してみましょう。

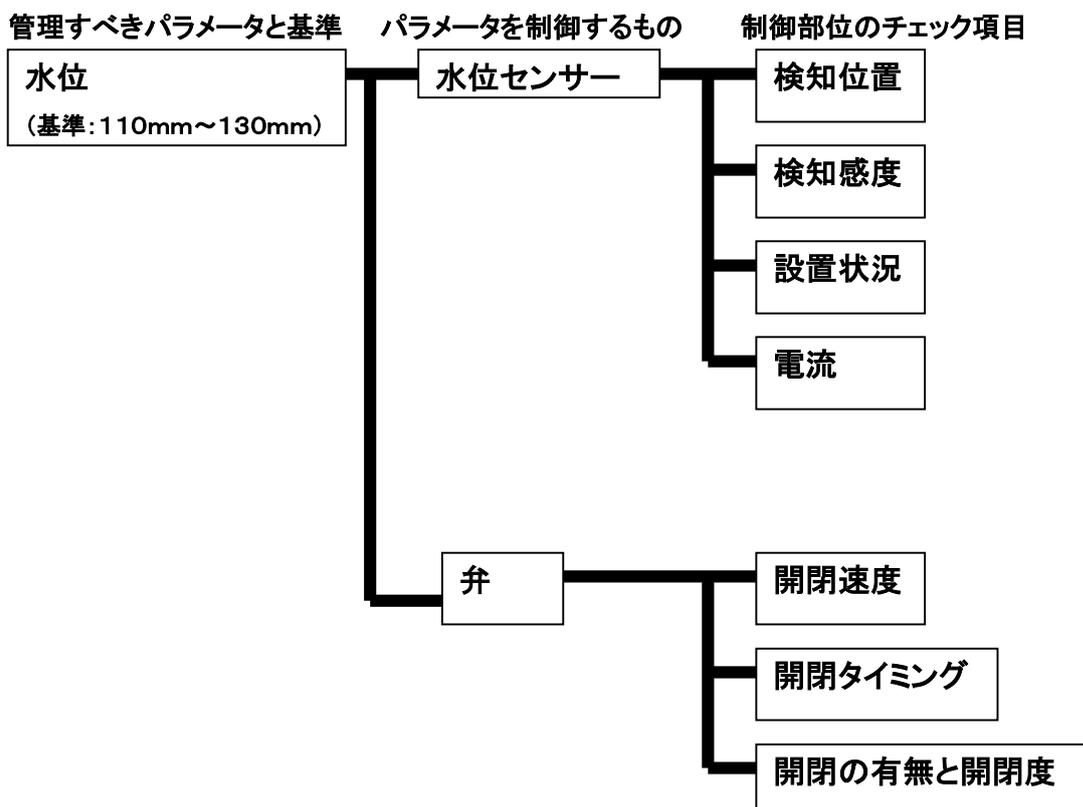
管理すべきパラメータは、温度なのか、圧力なのか、電力量なのか、流量なのか、ただ単なる位置関係、または力関係なのか。

そして次は、それらパラメータは何によってコントロールされているのかを、それぞれのパラメータの後ろに並べてみましょう。

コントロールしているのは、熱電対とヒーターなのか、流量計と制御弁なのか、または LM ガイドとセンサーなのか。

さらに、それら部品がそれらパラメータを適切にコントロールするためには、どのようなことが重要かを、それぞれの部品の後ろに列記してください。

(例)



このような基本的な知識は、慢性的に発生するトラブル等を解く場合には不可欠ですが、意外に、このような事柄について理解しないで、分析を実施されているケースが少なくありません。

これらのことが実践的に体で覚えているならともかく、職場にはこれらのことを、まだまだしっかり理解できていない人も多いはずです。

業務や作業について「なぜなぜ分析」を実施する時と同様に、予め確認しなければならないことは、しっかり確認し、構造やつながりなどを理解してから、分析を実施していきましょう。

実は、このようなことを実施するだけで、問題が見えてくるケースも少なくありません。

そこで、私のコンサルティングの場合は、職場の状況を見てから、どの方法で対処するか見極めています。

以上

PS: 先日あった変な理由説明をご紹介します。

<とある国立大学教授の解説(テレビにて)>

車軸から錆が発見された。だから、遊園地のジェットコースターの車軸が折れた原因が錆の可能性もある。

さあ、皆さんはこの説明、どう思いますか？

もし具体的な事例の「なぜなぜ分析」の指導をご希望される方は、遠慮なくご相談下さい。

ご相談は無料ですが、指導は有料にて実施させていただきます。

また、分析を実施していきながら、会社の仕組みや組織を活性化させたいとお考えの方も、ぜひご相談ください。皆様方のお声をお待ち申し上げます。